

「JENESYS2.0」

中国高校生訪日団第2陣

訪問日程 平成25年12月3日（火）～12月11日（水）

1 プログラム概要

中国日本友好協会が派遣した中国高校生訪日団第2陣計60名が、12月3日から12月11日までの8泊9日の日程で来日しました。（団長＝王占起（オウ・センキ）中国日本友好協会・理事、政治交流部部長）

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、訪日団は、東京をはじめ、新潟県、神奈川県を訪問し、「クールジャパン」を含め、さまざまな分野における日本の魅力、強みを体感したほか、新潟県に於ける学校交流やホームステイ等を通じて、日本の高校生や一般市民との友好交流と相互理解を深めました。

2 日程

12月3日（火）

成田国際空港より入国、皇居・二重橋見学、オリエンテーション

12月4日（水）

外務省訪問、里山の環境保全に関する講義

国会議員との懇談会、東京タワー見学、歓迎会

12月5日（木）

新潟県へ移動、新潟県表敬訪問・県政に関する講義、新潟市マンガ・アニメ情報館見学、和風温泉旅館での日本文化体験

12月6日（金）

学校交流（新潟県立新潟高校、新潟県立新潟中央高校、新潟県立新潟南高校、新潟明訓中学・高校、新潟県立新発田高校、新潟県立新発田南高校、新潟県立西新発田高校、新潟県立新発田農業高校）、ホームステイ（新潟県）

12月7日（土）

ホームステイ（新潟県）、ホームステイ解散式

12月8日（日）

奥阿賀ふるさと館見学（和紙手漉き体験）、阿賀野川ライン舟下り、北方文化博物館見学、東京都へ移動

12月9日（月）

中央清掃工場視察、日本科学未来館視察、JAXA 相模原キャンパス視察

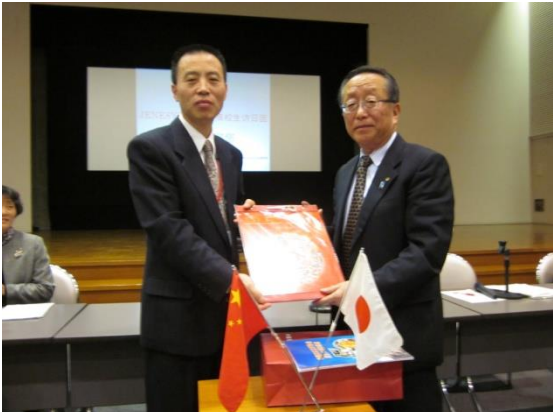
12月10日（火）

国会議事堂視察、浅草見学、歓送報告会

12月11日（水）

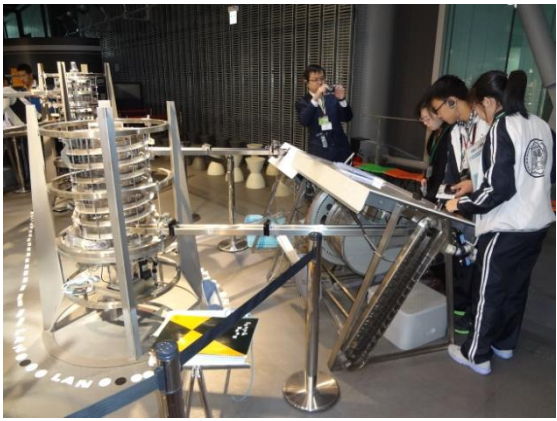
成田国際空港より帰国

3 写真

	
12月4日 松村正治恵泉女学園大学准教授による里山の環境保全に関する講義（東京都）	12月4日 講義質疑応答（東京都）
12月4日 恵泉女学園大学松村正治副教授作 关于山村环境保护的讲座（东京都）	12月4日 讲座提问（东京都）
	
12月4日 国会議員との懇談会（東京都）	12月4日 歓迎会 下川真樹太外務省アジア 大洋州局参事官の挨拶（東京都）
12月4日 与国会议员恳谈会（东京都）	12月4日 欢迎会 下川真树太外务省亚洲大 洋州局参赞致词(东京都)
	
12月4日 歓迎会 中国高校生合唱（東京都）	12月5日 新潟県表敬訪問 王占起団長と森 邦雄新潟県副知事（新潟県）
12月4日 欢迎会 中国高中生表演合唱(东京 都)	12月5日 拜会新潟县 王占起团长与森邦雄新 潟县副知事(新潟县)

	
12月5日 新潟県政に関する講義（新潟県）	12月5日 新潟市マンガ・アニメ情報館見学（新潟県）
12月5日 新潟县政府讲座(新潟县)	12月5日 新潟市漫画・动漫信息馆(新潟县)
	
12月6日 新潟県立新潟高校訪問・交流（新潟県）	12月6日 新潟県立新潟中央高校訪問・交流（新潟県）
12月6日 访问新潟县立新潟高中，交流(新潟县)	12月6日 访问新潟县立新潟中央高中，交流(新潟县)
	
12月6日 新潟県立新潟南高校訪問・交流（新潟県）	12月6日 新潟明訓中学・高校訪問・交流（新潟県）
12月6日 访问新潟县立新潟南高中，交流(新潟县)	12月6日 访问新潟明训中学・高中，交流(新潟县)

	
12月6日 新潟県立新発田高校訪問・交流 (新潟県)	12月6日 新潟県立新発田南高校訪問・交流 (新潟県)
12月6日 访问新潟县立新发田高中, 交流(新潟县)	12月6日 访问新潟县立新发田南高中, 交流(新潟县)
	
12月6日 新潟県立西新発田高校訪問・交流 (新潟県)	12月6日 新潟県立新発田農業高校訪問・交流 (新潟県)
12月6日 访问新潟县立西新发田高中, 交流(新潟县)	12月6日 访问新潟县立新发田农业高中, 交流(新潟县)
	
12月6日 新発田交流会 (新潟県)	12月7日 ホームステイ解散式 (新潟県)
12月6日 新发田交流会 (新潟县)	12月7日 寄宿家庭欢送会 (新潟县)

	
12月8日 和紙手漉き体験（新潟県）	12月8日 阿賀野川ライン舟下り（新潟県）
12月8日 製造和紙体験（新潟県）	12月8日 坐船参观阿贺野川（新潟県）
	
12月8日 北方文化博物館見学（新潟県）	12月9日 中央清掃工場視察（東京都）
12月8日 参观北方文化博物馆（新潟县）	12月9日 考察中央清扫工场（东京都）
	
12月9日 日本科学未来館視察（東京都）	12月9日 JAXA 相模原キャンパス視察（神奈川県）
12月9日 考察日本科学未来馆（东京都）	12月9日 考察 JAXA 相模原（神奈川県）

	
12月10日 浅草見学（東京都）	12月10日 歓送報告会 訪日成果報告（東京都）
12月10日 参观浅草（東京都）	12月10日 在欢送报告会汇报访日成果（東京都）

4 中国高校生の感想（抜粋）

○日本の学生はとても優しくて友好的だ。皆私たちと交流するのに一生懸命だった。彼らと交流して、私は日本に良い印象を持った。私たちはお互いの風土や人情から両国関係がもつれている近現代史まで、何でも話し合った。彼らは両国間の歴史を公正かつ客観的に見ていて、中国にもプラスのイメージを持っている。

私は帰国したら、できる限り周囲の人たちに、日本という国は、清潔に整った町と美しい田舎の風景、友好的な人たちの国であり、右派が横行する国ではないという事をしっかりわかってもらえるようにしたい。また、日本は環境保護の考えがとても進んでいて、中国はこれに見習わなくてはいけないと思う。私は日中両国が兄弟のように、一緒にアジアの繁栄と平和のために大きく貢献できることを願っている。

○短くも感慨深い日本滞在だった。日本人の物静かさは私にとって大きな驚きだ。公共の場所では大声で騒いだり笑ったりする人は誰もいない。高速道路ではクラクションの音もほとんど聞こえず、無理な追い越しもない。あるのは文明と礼儀、譲り合いだ。これは北京の交通と全く対照的だ。日本人の民度の高さには確かに感心させられる。中国人の民度はまだまだ低く、その道のりは長いということ、そして日本は素晴らしいお手本であるということを確認ざるをえない。

日本人の親しみやすさも、新鮮に心に残っている。ホストファミリーからは行き届いたおもてなしを受け、僅か一日の交流で深い友情を結んだ。二日目の午後、出発の前に近くのゲームセンターへ遊びに行った。私が贈ったプレゼントのお礼にと、ホストファミリーが買ったばかりのプレゼントを持って、ゲームセンターの入口で待っていてくれた時はとても感動した。阿賀野川の遊覧船では、とても親切な船頭のおじいさんが、私たちにお話しや歌を聞かせてくれた上に、柿餅までくれた。新潟も素晴らしい思い出になった。

私の心の中で日本は永遠のお手本であり、夢にまでぼんやりと出てくる。この一つ一つの思い出が、きっと人間的な幅を広げてくれると思う。この様な特別な経験ができたことに感謝し、帰国したらこれらのことをそのまま家族や友達や先生に話そうと思う。この訪日の経験を皆に話すことで思い出は永遠に生きてくるし、この訪日が無駄にならないのだ

と思う。

○日本は環境保護や人と自然の調和共存ということをととても重視していて、この分野における取り組みも素晴らしい。私は外務省での里山に関する講義と中央清掃工場の見学でそのような印象を強く受けた。里山という生態環境は私たちに、人と自然が寄り添い共に生きる可能性をはっきりと示している。今は経済発展のため里山の実用性は低くなっているが、この考え方は私たちにある種の啓発を与えてくれる。近代都市においても似たような生態系を発展させることができるかも知れない。

その後に見学した中央清掃工場もその一例と言える。人類の生活ゴミは全てが自然に分解されるわけではないので、中央清掃工場のような補助施設はとても必要だ。廃棄物の再利用一つ取っても、環境にやさしく有毒物質を排出しないという点で、都市の自然そのものに対する汚染や破壊を一部軽減している。

今、多くの人が中国の環境問題に注目しているが、ゴミを直接埋めることによる汚染が日増しに深刻になっている。私は帰国したら、この問題の解決方法をどう考えていくかということや、一人ひとりがゴミの分別や“3R”といった小さな事を十分意識するといったことを伝えられたらと思う。

○一番印象深かったのは日本人の細やかさだ。どこのホテルのトイレも、トイレットペーパーの先は三角形に折り畳まれていて、スタッフのきめ細やかさが感じ取れる。しかも親切でサービスもいい。町は清潔で、ゴミの分別や処理は完璧。焼却の熱で発電までしてしまう。これは私が見た中で一番先進的な方法だ。中国はある程度参考にすればいいと思う。セミナーに出てきた“里山”モデルにも考えを触発された。人類は経済発展の一方で、同時に自然環境の保護と合理的な開発にも迫られている。中国の一部地域で大気汚染が深刻になっている今日、私たちもこの問題をよく考えるべきではないだろうか？私たち一人ひとりが自分から行動を起こすべきだし、政府も政策を立てて、水質汚染と大気汚染に対して規則を定め、厳しく取りしめるべきだ。バランスをとることで自然と人は調和共存できる。汚染がなくなって、空が毎日晴れわたっていて欲しい。

○私たちのような若者が、最も心惹かれるのは日本の漫画やアニメだ。日本の漫画は世界的に有名で、中国の若者にもファンが多く、ワンピースやナルト疾風伝、名探偵コナンといったアニメは中国でも良く知られている。しかし、中国のアニメと日本のアニメを比べると、その差は大きい。まずキャラクターの設定だ。日本アニメは見た目にも美しいが、中国アニメは動物ものでなければまず見れたものではない。今は少し進歩してきているが、キャラクターの性格設定においても日本アニメの方が個性豊かだ。次にストーリーだ。日本アニメは広い世界観で、想像力に富んでいる。ほとんど正義が悪を討つといったものだが、その構成は多種多様だ。中国アニメは単純すぎて子供っぽく、ストーリーも古臭い。それに中国アニメはパクリが多い。日本アニメの画風、キャラクター設定、ストーリー等いい所を、パクリではなく、学ぶべきだ。中国の若者で中国アニメファンと言う人はあまりいない。中国アニメにも《秦時名月》のような、キャラクター、画風、ストーリーが独創的で全くパクリではない素晴らしい作品もあるが、中国の若者はほとんどが日本アニメファンだ。

私は帰国したら、日本文化と中国文化がよりよく交わり融合するように、日本の流行文化を広めていくつもりだ。

○本当にたくさんの事が印象深く心に残っている。両親の付き添いなしで遊びに出かける機会がほとんどないので、この様に自由な状況で感じ取ったことは、より一層真実味があるように思う。

一番感銘を受けたのは、日本人が決まりやしきたりをよく守るということだ。保守的というのではない。私は日本人が保守的だとは全く思わない。これは私が目にした至る所に浸透している。例えばゴミ一つない通りや、人と出会ったときは深々とお辞儀してきちんと挨拶すること、道行く人の服装は誰も皆きちんと整っていることである。まだまだたくさんある。これは人を尊重しているということであり、自分を大切にすることでもある。このことはゴミの分別がきちんとなされ、清掃工場は清潔で整然としているということからもわかる。ただ、決まりやしきたりを守るといっても冷血無情という訳ではない。例を一つ挙げると、新潟中央高校の皆と一緒に体育の授業をした時、初め私は皆から仲間はずれにされるのではないかと心配していた。だが、私のサポートをしてくれた女の子は二人とも、冷たく冷えた手でずっと私の手を握っていてくれた。私の心配は全く不要であった。中国の高校生ならどう考えるか、あるいは考えもしないかも知れないが、やはり自分の手を差し伸べることはないのではないかなと思う。それからホストファミリーとも本当の家族のようにクリスマスツリーを飾ったり、クッキーを焼いたり、本屋さんでぶらぶらしたりした。このようなおもてなしを受けたことを本当にありがたいと思う。

日本人は実に友好的で、本当に中国人が見習うに値する。私は中国の友達に、日本が発展したのにはそれなりの理由があり、決まりやしきたりが息づいているということを教えた。それから、礼儀、書道、茶道といった中国で生まれた文化が、日本でどの様なパワーと活力を得たかということも教えた。まだまだたくさんある。実際、一般の中国人の多くは、例えば私なども常に理性的な愛国者だ。一般の日本人に悪意がないことは知っていたが、今ははっきりと日本人が優しく尊敬に値すると断言できる。私たち両国の人々が、自分の体験を基に判断し、相手と自分の心の中にある本当の考えがわかった時、全ての誤解が解けるだろう。私は、中日の人々が全員とは言わないが少なくとも大部分の人たちが、言葉は違っても互いに強く抱き合って癒し合える日が来るのを見たいと切実に思う。

○東京の夜景は美しい。中でも街中をぶらぶらと歩きながら見る夜景は特に綺麗だ。一番印象深かったのは東京日航ホテルの近くで買い物をしたことだ。日本の流行文化やファッションはなかなかのもので、「こんなかわいい服は生まれて初めて！」と思うほどであった。そして日本の商品産業の素晴らしさを感じた。

私が周囲の皆に言いたいのは、理性を持って正しく日本を見るという事だ。全体的に見れば日本人はやはりとても善良で、サービスの姿勢もすばらしい。私は本当に驚き、感動した。また日本人の民度の高さにも驚いた。部屋に入るときはスリッパを脱ぐ、赤信号の時はたとえ車が来ていなくても道を渡らない…ちょうど今日、浅草で芋羊羹を買おうとした時も、店員さんが各国の言葉で書かれているボードを私に見せて、浅草商店街は飲食しながら歩くのは不可、必ず買った店の前で食べ終わってから…と教えてくれた。

つまり、日本人は、とても善良で優しいのだ。

○今回の訪問で一番印象深かったのは、やはり日本人の民度の高さだ。

温泉旅館（新潟）に行った時に財布をなくしたことを挙げなければならない。当時、私は財布が見つからず、焦って夜も良く眠れなかった。同じ部屋の人たちが皆であちこちひっくり返して探してくれたが、やはり見つからなかった。私は、きっとロビーで落としたんだ…絶対もう見つからない…と思った。財布の中には 25,000 円近いお金が入っていて、私たちにとってはなくしたからそれで仕方ないと思える額ではない。それに私はカードを持っていないので、財布の中の現金が私の全財産なのだ。ロビーに落とした私の財布を誰かが持ち去ったと思うと、ますますイライラした。

二日目の朝、私は仕方なく日本側の先生の所に行った。先生はそれほど慌てる様子もなく、繰り返し私に「安心なさい。きっと見つかるから。日本人は拾ったらきっとフロントに届けてくれるから。」と言う。私は半信半疑だったが、財布が戻ってくる希望を抱いてはいなかった。ただ先生は、私に「出てくるよ。」と何度も言った。

もうすぐ高校訪問に向かうバスに乗ろうというとき、日本側の先生が旅館の従業員の人を連れて私の所に来た。そして私に財布の色形や、中に入っていた物など詳しく聞いて、真剣にメモをとった。私はとても感動したが、心の中では、財布を捜すとなれば従業員総出になるだろうし、そうなれば旅館の通常営業にも影響が出るだろうし、そんな“赤字商売”誰もするはずないと思った。

しかし、実際探してくれたのだ。高校訪問当日の昼に、先生から財布が見つかったという知らせを受けた。ホームステイが終わってから、私は旅館からはるばる郵送されてきた財布を受け取った。財布を手にした時は、ただただ感動と感謝だった。私が日本の高校生にこの話しをした時も、拍手だけが鳴り響いた。

私は時々、もし中国で財布をなくしていたらどんな結果になっただろうと思うことがある。中国ならきっと財布は戻ってこないということを言いたいのではない。ただ、日本人の民度の高さ、企業の良心、責任感や態度に敬服するのだ。たった一人の学生のためでも、諦めずに財布を探す旅館。これは一国家全体の素養を表している。日本の高い素養は、私達が学ぶべきものだ。これは私が最も感動したことだ。

○一番印象深かったのは清掃工場の見学だ。清掃工場の中は基本的に全自動運転で至る所にハイテク技術が駆使され、職員の人とはかえって暇そうに見えるほどだ。ゴミの分別がしっかりされているので、処理の時間を大幅に節約できる。これは人々の環境保護意識が大切であることを表している。清掃工場ができて 13 年になるそうだが、ゴミ分別は 30 年前からやっているという。中国のゴミ分別は今始まったばかりで、環境保護のためのゴミ分別一つ取っても、中国と日本には少なくとも 20 年の開きがあることになる。

皆には日本人の優しさと日本の先進技術、高い民度について伝えたい。

○時間は跳ぶように過ぎ、日本での 9 日間があっという間に終わった。短かった。この 9 日間で多くのことを学び、自分自身もグンと成長した。一番重要なのは、自分自身の目で物事を見られるようになったことだ。この 216 時間、先生たちには至れり尽くせりでお世話いただきとても感謝している。今回の訪問を通して日本の事をたくさん理解できたし、日本人の生活も体験できた。

一番印象深かったのは、学校訪問とホームステイだ。日本の友達と一緒に過ごせてとても楽しかった。教室に入ると、黒板にクラスメートが私のために書いてくれたメッセージがあった。歓迎してくれてとても感動した。先生方は、私のためにわざわざ英語のスライドを用意してくださった。また、私は日本のクラスはとても活気があると思った。クラスメート同士でよく問題について話し合う。部活動もたくさんあって、皆積極的に参加している。明訓高校でのバレーボールの試合は楽しい思い出だ。私は明訓が大好き！2日間を共にしたクラスメートが大好きだ！

この9日間の日本訪問で、日本に対する見方がずいぶん変わった。あらためて感謝したい。きれいな道路、整ったインフラ、新鮮な空気が日本の魅力を表している。この9日間で見聞きしたことを、中国のクラスメートにも伝えようと思う。私はすっかり日本に夢中になっている。本当に帰りたくなかった。これから中日友好のためにがんばって貢献したいと思う。また日本に来ることができるように！

○学校訪問で剣道とバレーボールを体験した。また部活動の見学もさせてもらった。書道とダンスがあまりに高レベルで驚いた。日本の若者はとても友好的だ。互いの言葉は違うが、英語の交流を通して深い友情を築いた。

○一番印象に残っているのは、学校訪問とホームステイの2日間だ。学校訪問の時、先生や学生たちが私たちを大歓迎してくれた。言葉は違うけれど深い友情を結び、連絡先を交換したり一緒に写真を撮ったりした。私たちは日本の高校で、生物・体育・書道の三つの授業に参加した。

生物の授業は実験をやった。同じグループの皆と一緒に実験をする中で友情を感じた。体育は主にバスケットボールの試合だ。日本の高校生は、本当に体力があると感じた。それに皆一生懸命だ。これは見習わなくてはならない所だ。習字の時間は、日本の学生が一人一つずつ、力強く中国の漢字を書いて、私たちに披露してくれた。学校訪問では、日本の高校生たちの優しさや友情を感じた。

一泊ホームステイをした時に感動したのは、おばあちゃんが一针一针手縫いしたマスコットを私たちに作ってくれたことだ。ホストファミリーは、私たちにご馳走をたくさん用意してくれた。言葉が通じないので、携帯電話やパソコンの翻訳ソフトを使ってコミュニケーションをとった。バスケットボール体育館やカラオケ、家で経営している会社にも連れて行ってもらった。日本人の親切なおもてなしを身をもって体験できた。私の中で日本の地位がぐんと上がった。

帰国したら家族やクラスメートに、日本人がとても親切でもてなし上手で友好的だということと、環境保護の面での素晴らしい取り組みを話したい。

○数日間の日本での短い滞在中に印象深かったこと：

一、何処も大変静かである

日本は人口密度が高いが、新幹線や通りや町の中など、何処もとても静かだった。これほど静かなのは、まずクラクションを鳴らす車がないからだ。東京の繁華街では、小走りに道を急ぐ人ばかり目にする。誰も皆さっぱりと洗練されたおしゃれな服装で、聞こえるのは巨大な人波の足音だけ。騒々しさがなく、言い争う声などもろろん聞こえない。

二、日本人は親切でもてなし上手である

日本に着いてから、バスに乗り降りする時は運転手さんがいつも笑顔で声をかけてくれた。店やスーパーマーケットに入った時は、店員さんが「こんにちは」と声をかけてくれる。ホームステイでは、お母さんがテーブル二つ分のご馳走で私をもてなしてくれた。そして日本の扇子をプレゼントしてくれた。この扇子は私のお気に入りだ。心の距離がぐっと近くなった気がした。

帰国したら、まずは自分が小さな事ではあるが、物静かさ・清潔さ、優しさなど、日本人の良い所を見習うことから始めようと思う。そして私の周りの人たちが、私に影響されていい所を見習ってくれるようにしよう。

○ホームステイが印象深かった。日本人の優しさやおもてなしにとっても感動した。初めて家に入ったとき、上と左右の框に「ようこそ日本へ」と書いた紙と、私たち三人の名前を書いた紙が貼ってあった。全て中国語で書いてあった。お父さんが昨日書いたものだと言った。別れの時、お兄さんが得意の日本式煎餅を作ってくれた。そして最後に、お父さんが朝覚えたばかりの中国語で“朋有り遠方より来る、また楽しからずや”という言葉を書き、私達がそれぞれ自分の名前を書いた。このような友情に国境はないと思う。私はこのお父さんを忘れない。

○9日間にわたる訪日生活もうすぐ終わる。この9日間で日本に対するイメージがずいぶん変わった。日本のゴミ分別はとても細かくて、普通のペットボトルでも蓋とボトルを分けて捨てなければいけない。同じように科学技術が発達している国だが、色々な面ではるかに中国を凌いでいる。私は驚き、羨ましいと思った。

一番忘れ難いのは学校交流とホームステイだ。日本の学生はとても優しくて友好的だ。私が教室に入ると皆中国語で私に挨拶し、一人ずつ自己紹介してくれた。別れ際には一緒に写真を撮り、サインをした。短い午後の時間の交流だったが、一人ひとりの様子が私の心に深く刻まれている。明るくて優しい女子学生たちと共に2時間英語の授業を受けたことはいつまでも覚えている。私のホストシスターの家は大家族で、お姉さんが2人と妹が1人いる。皆でテーブルを囲みながら家族の温もりを感じた。お母さんは、私に自分の家だと思って楽にするように言ってくれた。ご飯の時は私に先に食べさせ、私がおいしいと言うと、嬉しそうに何度も頷いてありがとうと言った。二日目、海洋館に連れて行ってもらって、イルカショーを見た。お世話になってとても感謝している。この事は永遠に忘れない！機会があれば必ずまた日本に来る！